

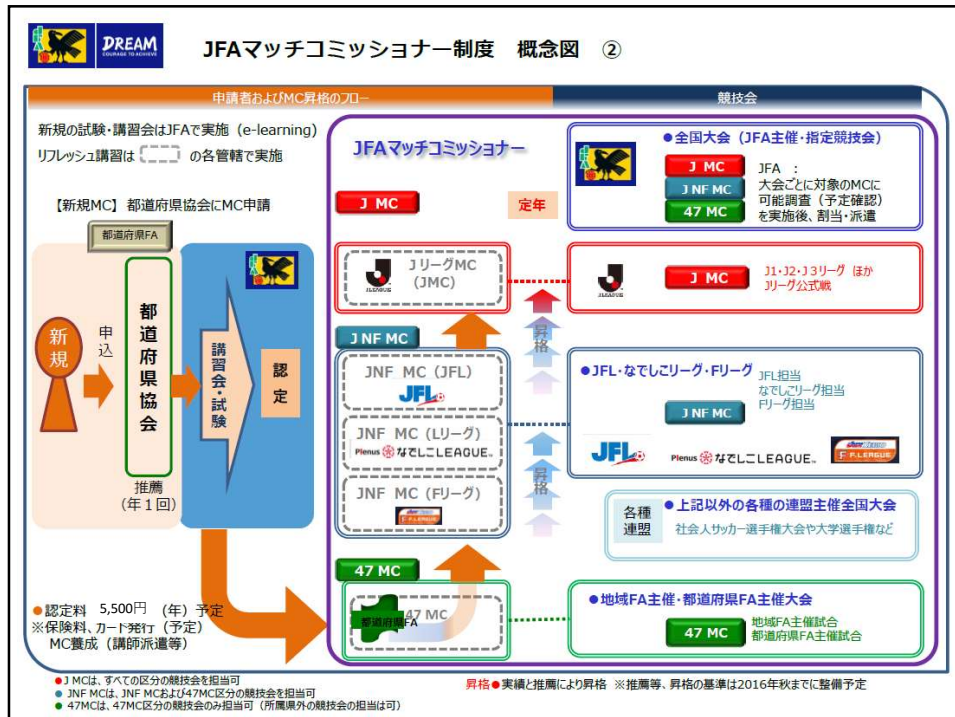


202△（新規）47MC 講習会

令和 年 月 日（ ）

一般社団法人熊本県サッカー協会
規律・フェアプレー委員会
講師：〇〇 〇〇

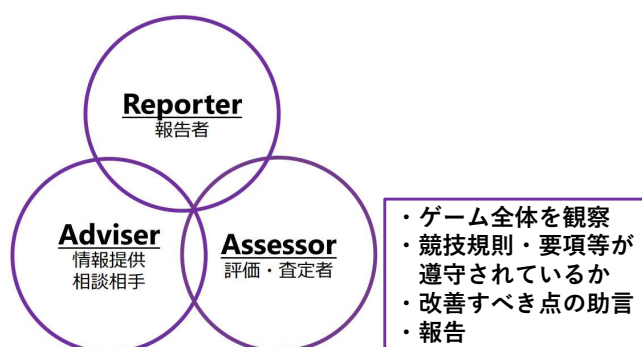
1



2

マッチコミッショナーとは？

公正・公平な立場



3

マッチコミッショナー業務の流れ

① 規定された時刻までに到着



4

会場到着時刻

Jリーグ・・・150分前（エントリーシート提出時刻）

JFL・・・120分前（エントリーシート提出時刻）

九州リーグ・・・80分前（エントリーシート提出時刻）

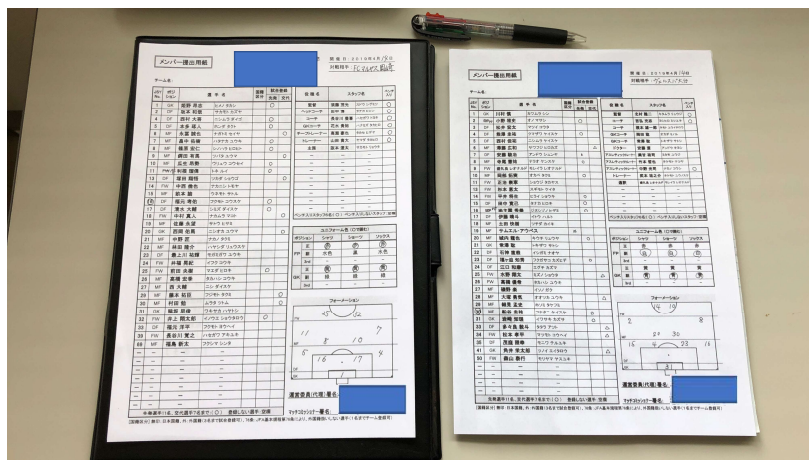
Qリーグ・・・80分前（エントリーシート提出時刻）

※エントリーシートが出てくる前に会場に到着し、会場の施設設備等を見て回るとよい



5

② メンバー表のチェックおよび署名



6

メンバー表の確認

◎選手・スタッフのエントリー数は、リーグ（大会）規定・要項に合っているか

- ・ GK・DF・MF・FWの記述は間違っていないか
- ・ GKは、正、サブ2名のエントリーがあるか
正GKのみの場合は、緊急時誰がGKになるのか、サブのGKユニフォームはあるかを確認
- ・ 高校チームでは、たまに女子マネージャーなどがベンチに入っていることがある。入るのであれば、スタッフとしてエントリーシートに記述するよう勧める

◎ピッチ内練習で、エントリー済みの選手が怪我をした（競規P47）

- ・ 先発の選手が出場不可であれば、サブの選手との交代ができる。怪我をした選手が、サブに回ることはできない
- ・ 怪我をした選手がGKであれば、サブとして残ることができる
九州リーグ・Qリーグとも選手の補充はできない

7

③ フィールドインスペクション



8



危険物・制限地域等の確認

9

会場内点検詳細

- ◎特に今は、感染症対策として、
 - ・室内の換気の状態を確認
 - ・手指消毒薬等の設置状況を確認
 - ・運営本部・選手ベンチ等の座席間隔を確認
- ◎看板を設置するようなゲームでは、
 - ・ウェイト等でしっかり固定されているか
 - ・タッチライン等から、**5m以上**離れているか
- ◎九州大会等のゲームでは、協会旗などが掲揚されてるか
- ◎ゴールネット等の確認
 - ・たまに、ゴールの前面にネットが巻き付いてあることも（競規P36）

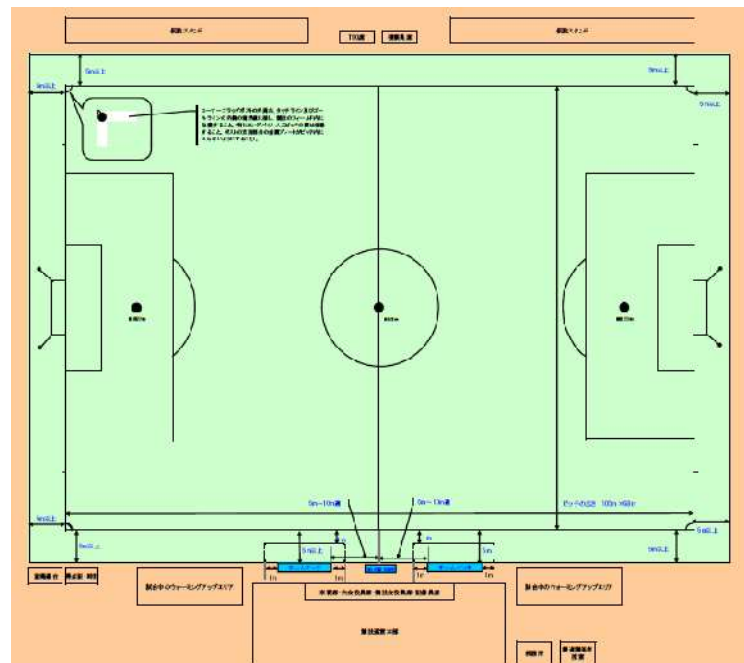


10

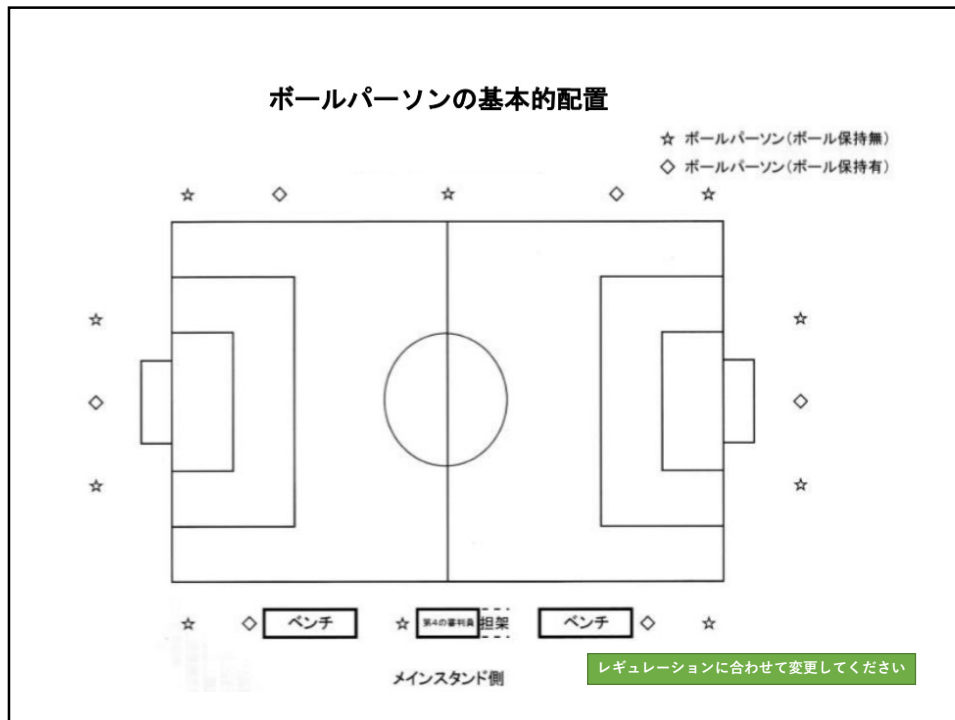


レギュレーションに合わせて、椅子の数のチェック

11



12



13

④ マッチコーディネーションミーティング



14

⑤ マッチ席に着席しゲーム開始を待つ



15

⑥ ゲーム開始



16

ゲーム中の様々な事象①

- ◎スタッフが、自前の椅子をベンチに持ち込んだ
 - ・控え選手・チームスタッフの数に合わせて、運営担当が椅子を準備しているので、そちらを使うようお願いする
- ◎ベンチに音楽再生機器を持ち込み、音楽を流している（競規P55）
 - ・**電子通信機器の利用**は、競技者の安全安心・快適さに直接関係、戦術的もしくはコーチングの目的であれば利用が可能
 - ・**音楽再生機器は、電子通信機器ではない**ので使用できない
 - ・従わない場合は、退場を命じられる
- ◎ベンチから撮影機器等を使い、写真を撮ったり映像をとったりしている（競規P255）
 - ・これも電子通信機器ではないため、使用できない
- ◎エントリーをしていない女子（男子）マネージャー等が、ベンチに入っている（競規P35）
 - ・エントリースタッフ以外はベンチに入らないように注意する
- ◎マスクをしていない関係者がいる
 - ・テクニカルエリアで指示をしているスタッフ・アップをしている控え選手以外はマスクをするようお願いする



17

ゲーム中の様々な事象②

- ◎ゲーム中、風が強くなってきた
 - ・選手・観客等の安全を考え、運営担当に依頼し、テント・看板等を撤去してもらう
- ◎飲水用のボトルケースがタッチライン・ゴールラインのそばに置いてある
 - ・感染症対策の特例である。各ラインから2m離すようお願いする（特にアシスタント側）
- ◎ゲーム中選手が、2m離れたボトルケースのところまで主審の許可を得ずにピッチを離れた
 - ・感染症対策の特例として、無許可出にはならない
- ◎飲水タイムに、作戦ボード等の使用があった
 - ・飲水タイムはあくまでも飲水のための時間。ゲーム終了後、該当チームには注意をする



18

ゲーム中の様々な事象③

◎ゲーム中、ソックスと異色のテーピングをした選手がいた

- ・九州リーグでは、ソックスと同色のテープを使うよう伝えてある
- ・他のリーグ、下位大会等では緩和されているゲームも
- ・ゲーム終了後、ソックスと同色のテープを使うようチームスタッフに願います



◎ゲーム中、落雷の予兆があった

- ・通常、中断の最初の判断は主審。主審が気付かないような場合は、運営担当・MC等が声掛けをする
- ・選手・観客等は、テントではなく**屋根の下に避難**させる
- ・ゲーム再開・中止については、主審・運営担当・MCで協議し決定する（MCは**緊急報告書**を作成する）

◎ゲーム中、地震があった

- ・雷とは違い、建物等から離れた広い場所に避難させる

◎規定回数の交代終了後も控え選手がアップエリアにいる

- ・第4の審判員や運営担当を通して、ベンチに戻らせる

19

ゲーム中の様々な事象④

公式記録への記入（各種イベントのタイミング）

- ◎九州女子サッカーリーグ等では、公式記録記入の指導が必要になることも

キックオフ	選手がボールを触ったとき
	×：笛が鳴ったとき
シュート	蹴ったとき
	P Kも蹴ったとき
G K・C K	ラインを割ったとき
	×：蹴ったとき
ファウル・オフサイド	笛が鳴ったとき
	×：蹴ったとき
警告・退場	カードが提示されたとき
交代	選手が交代したとき（複数の選手交代の場合、最初の選手が入った時）
	×：交代ボードが提示されたとき

20

ゲーム中の様々な事象⑤

- ◎ゲーム中、主審が懲戒罰対象者を間違えてカードを提示した
 - ・ゲーム再開前であれば、第4の審判員等を通じて、間違いを指摘する（MCが直接伝えることは控える）本当は・・・
 - ・ゲーム終了後間違いの指摘があった場合は、審判員等に確認したうえ、**緊急報告書**を作成する
 - ・公式記録へは、主審が行なった判定をそのまま記載する
- ◎ゲーム中、審判員が確認できなかった「悪質な行為」があった
 - ・競合いの中で相手選手を蹴る、交代の際、人に向けてペットボトル等を蹴る・投げつける等の行為があった場合、映像があれば確認を行う
 - ・確認ができた場合は、該当選手・役員等に事情聴取を行い**緊急報告書**を作成する
 - ・確認ができなかった場合は、該当チーム役員等と話をする
- ◎ゲーム中チームによる違反行為があった
 - ・審判員を取り囲む、執拗な抗議を繰り返すなどの行為が確認できた場合、該当者の事情聴取を行い**緊急報告書**を作成する

21

ゲーム中の様々な事象⑥

- ◎ゲーム中およびゲーム前後にスタジアム内の器物を損壊した
 - ・該当者が特定できる場合は、事情聴取を行い、**緊急報告書**を作成する
 - ・該当者が特定できない場合は、証拠になる写真等を残し、報告書に記載する
 - ・ホーム運営担当者からも報告を上げてもらう
- ◎ゲーム中およびゲーム前後に差別的な行為があった
 - ・差別的行為を行なった者がチーム関係者である場合は事情聴取を行い、**緊急報告書**を作成する
 - ・該当者が保護者・サポーター等である場合は、ホーム運営担当者の中に入ってもらい事情聴取を行い、**緊急報告書**を作成する



22



ゲーム中は、観客席等周囲にも注意を払う

23

⑦ ゲーム終了

(1) 質問等がないか確認

(2) フィールドの状況の確認

(3) 公式記録への署名

(4) 審判員との反省会

(5) 運営担当者とのミーティング

24

ゲーム後の様々な事象

◎判定に対する話し合いの申し出があった

- ・MCが間に入り、審判と直接話をさせない
- ・MCが審判から話を聞き、質問をしてきたチームに伝える
- ・アセッサーがいる場合は、アセッサーに説明してもらう
- ・チームを納得させることが目的ではない。話を伝えた後は、報告書を上げてもらうよう伝える

◎ゲーム中一発レッドで退場者が出た

- ・事情聴取の前に主審に確認をしておく
- ・落ち着いた雰囲気の中で、本人から事情聴取を行う
(監督やコーチなど1名程度が同席することは可)
- ・いつ・どこで・誰が・何を・どうしたかを**本人**に確認
(判定に対する否定的な考えもそのまま聞く)
- ・**緊急報告書**を作成する



◎運営担当者との反省会

- ・MCの気づきを伝え、より良いゲーム運営ができるようにする

⑧ 報告書の提出

マツチコシモッショナー報告書		
大会名	 マルリーダ	
MZ氏名 :		
開始日 :	2019年 月 日 ()	都府県セッション : _____
競技場名 :	_____	
チーム名 :	V.S _____	
試合結果 :	_____ () _____ () _____ ()	
キックオフ :	前半 : (既定時刻) _____ (フデビジュアルタイム表示 分)	
	後半 : _____ (フデビジュアルタイム表示 分) *本番終了後に参加人数発表を入手	
選手招待	選手 : _____	
	選手 : _____	
審判員 :	国内 海外 / 国際 主審 副審 副審1 : _____ 国内 海外 / 国際 主審 副審 副審2 : _____ 国内 海外 / 国際 主審 副審 客席の審判員 : _____ 国内 海外 / 国際 主審 副審	
入場者数 :	人 天候 : _____ 気温 : _____℃ 湿度 : _____% WBGT値 : 前半 °C 計測時間 : _____ 本社タイル実装の有無 : 前半 °C 後半 °C 後半 °C 計測時間 : _____ Cooling Break実施の有無 : 前半 °C 後半 °C	
※WBGT値に関する記入は5月・10月までの観の実施して下さい。実際の仕様はブルグワム形式です。		
ピッチ状況 :	 (10点満点を付与する)	
フットボール場の の状態が良好な 状態で開催 へ配慮等 を行う必要 はないと見 られる		

● 緊急報告書の提出

マッチコミッショナー緊急報告書

大会名 日本フットボールリーグ 第 節

緊急報告書は下記3ヶ所へ送付するかJFAにて送付下さい。《原本送付は必要ありません》

FAV送付先(3ヶ所)
理事長 高橋雅規 様 (FAV053-471-9101)
経理委員長 上野二三一様 (FAV03-3995-2028)
日本フットボールリーグ事務局 (FAV03-3830-1847)

試合日時: 2019年 月 日 ()

対戦相手:

チーム名: VS

試合結果: () () () () () ()

審判員 主審: 副審1:
副審2: 第4の審判員:

緊急報告内容(時間、チーム名、選手名(役員名)等を確認し、発言者(内容)も明確にしてください。)
(いつ、どこで、だれが、何を、なぜ、どのように)を詳しく記入)

以上報告いたします。 2019年 月 日
マッatchコミッショナー 署名

27

マッatchコミッショナー制度の普及を

- (1) プレーヤーズファーストの視点で
- (2) サッカーファミリーの安心・安全を図る
- (3) 謙虚な姿勢で学びを忘れずに

28